

Theme : 内視鏡手術支援ロボット da Vinci

## ～da Vinci (ダヴィンチ) Xi 導入～

da Vinci とは従来の腹腔鏡下手術と同様に小さな切開部を作り、Dr の操作によって内視鏡カメラや鉗子等を動かして手術を行う内視鏡手術支援ロボットです。



① サージョンコンソール



② ペイシェントカート

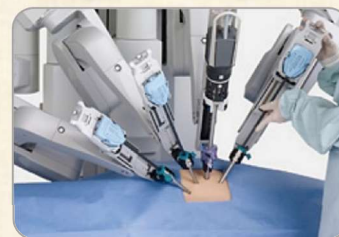


③ ビジョンカート

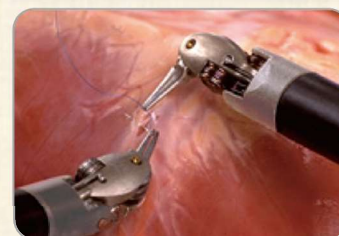
① 『サージョンコンソール』と言われる操縦席に Dr が座り、3D 映像を見ながら手元のコントローラーを操作。



② 『ペイシェントカート』の4本のアームに Dr の操作が連動して伝わり、内視鏡カメラや鉗子などを動かす。



③ 『ビジョンカート』のモニターに手術中の映像が出力され、手術スタッフにも情報が共有される。



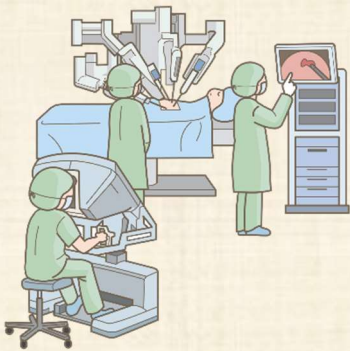


## ～メリット～

- ・1～2cm 程度（手術式により異なる）の小さな切開創である為、術後回復が早い。
- ・3D カメラにより鮮明な立体画像と拡大視野（最大約 15 倍）が得られる。
- ・従来の手術では不可能であった複雑な手術操作が、**鉗子先端の可動性向上および手振れ補正により正確かつ精密に操作可能**。それに伴い、機能温存も向上。

## ～デメリット～

- ・総額 3 億円以上と非常に高額、**システムセッティングやトラブル対応がやや煩雑**。
- ・組織把持などの鉗子操作における触覚が無い為、Dr の慣れが必要。  
（※専門のトレーニングを積み、認定資格を取得した執刀医のみ操作可能）



円滑な手術の為に…

**da Vinci を安全に運用出来るシステム構築**

**使用機器の保守管理が必須**

⇒当室として **OP 室担当の増員、業務拡大**し対応

**執刀医、麻酔科医、看護師、臨床工学技士それぞれスタッフが**

**チーム一丸となって安全かつ確実な手術に取り組んでいきます！！**



## ～保険適用～

泌尿器科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、婦人科と複数診療科における術式に対し保険適用可能となっている。2022 年度の次期診療報酬改定により更なる術式の拡大が決定し、また現在適用されている術式の一部に関して診療報酬上の評価が見直される可能性がある。

何か機器に関することがあれば、お気軽に CE までご連絡ください！

（PHS 日中:7070、ME センター担当：6210、OP 担当：6109）